

奈良県プレミアム商品券発行事業事務局運営業務委託 審査基準

審査項目		審査基準	配点	
業務遂行能力	業務理解度	事業目的、趣旨を十分理解した提案を行っているか。	10	30
	人員体制	【事務局の人員】 事業目的を達成するために十分な人員体制を有し、適正に事業を実施できる体制となっているか。	5	
	実施計画 実施手法	実現性のある計画及び手法（問い合わせ対応、受付・審査、口数割当等）を明確に提示しているか。	10	
	業務実績	同種・同規模以上の業務実績があり、本業務の成果を期待できるか。	5	
企画提案内容	コールセンターの人員体制	【コールセンターの体制】 申請件数や問い合わせ件数等の状況変化に応じることができる柔軟な運営体制が構築されているか。オペレーター業務を行うために十分な能力・経験を有する人材が配置されているか。	10	60
		【コールセンターの人員】 繁忙期においても、利用者（住民）や店舗等からの問い合わせに的確かつ迅速に対応できる人員が確保されているか。人員配置計画の積算根拠には、類似事例や対応実績等が示され、妥当性の高いものとなっているか。	10	
	デジタル弱者対策	【申請期間中の支援】 申請期間中の支援内容は、県で実施する窓口支援（県内全市町村約240箇所、平日9:00～17:00）を考慮し、デジタル弱者支援をより充実させる内容となっているか。	10	
		【利用期間中の支援】 利用期間中の支援内容は、電子決済サービスの利用や商品券の購入等を十分に支援できる内容となっているか。	10	
	広報活動	【広報物の数量・配布先・内容】 広報物の数量・配布先は仕様書に記載の内容以上を確保し、状況変化に十分対応できる内容となっているか。また、仕様書に記載のほか、広報物が提案され、利用促進につながる効果的な内容となっているか。	10	
		【各種媒体を活用した効果的な広報】 各種媒体を活用した広報により、県民の世代や住居地域等に応じた効果的な広報手法となっているか。	10	
経費	事業費の見積額	事業費の見積額が内訳の積算を含め適切であれば、以下の基準に従って採点する。 164,144,513円～167,494,401円・・・6点（98%＜見積額≤100%） 160,794,625円～164,144,512円・・・7点（96%＜見積額≤98%） 157,444,737円～160,794,624円・・・8点（94%＜見積額≤96%） 154,094,849円～157,444,736円・・・9点（92%＜見積額≤94%） 154,094,848円・・・10点（見積額≤92%）	10	10
合計			100	100

- 提案者が2者以上ある場合は、各委員による合計点が、満点の6割以上の者のうち、最も高い点を獲得した者を契約候補者として選定する。
- 提案者が1者の場合は、各委員による合計点が、満点の6割以上で、かつ委員会の審議により認められた者を契約候補者として選定する。
- 原則として各項目5段階評価とする。（ただし、経費にかかる評価を除く。）  
10点の配点箇所は、それぞれ5段階評価×2と計算する。  
5：評価できる 4：やや評価できる 3：普通 2：あまり評価できない 1：評価できない
- 業務実績は、過去5年（令和3年4月1日から令和8年3月31日）までに完了した、国又は地方公共団体（公社・企業局等を含む）から受注した事務局運営業務の元請実績を評価する。同種類及び同規模以上の業務実績とは『地域振興券発行事業又は補助金・給付金事業にかかる事務局運営業務の委託契約を行ったもの』及び『委託上限額の70%以上の契約金額による業務実績』（1～2件：3点、3～4件：4点、5件以上：5点）
- 見積額が委託上限額を上回るものは失格とする。